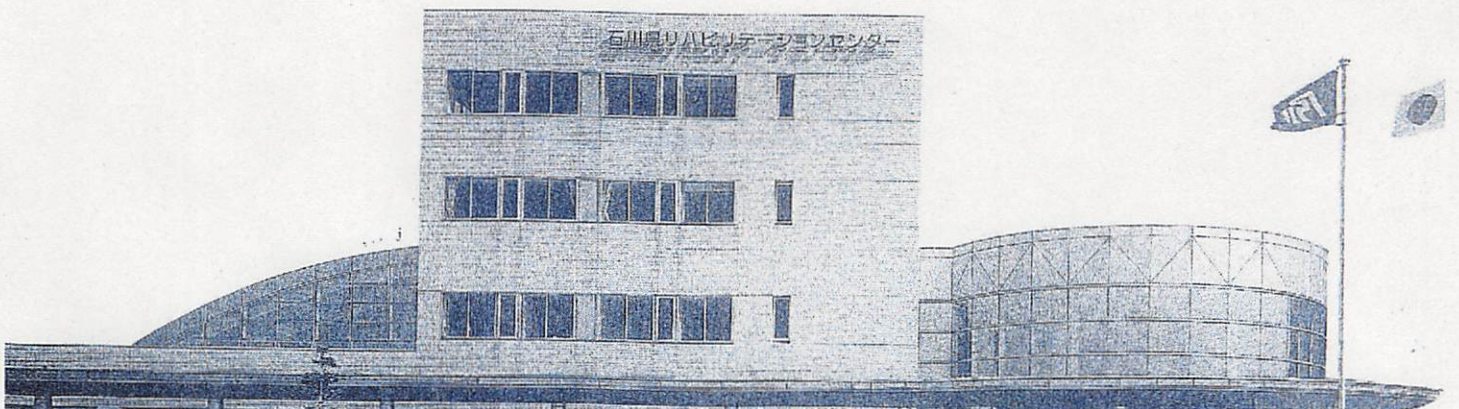


石川県リハビリテーションセンター

ISHIKAWA PREFECTURAL REHABILITATION CENTER

平成28年度事務提要



目次

第1	施設の概要	1
第2	組織及び分掌事務	4
第3	職員数（平成28年4月1日現在）	5
第4	平成27年度の事業実績	
I	県リハビリテーション支援センターの状況	
1	地域リハビリテーション推進事業	
(1)	地域リハビリテーション推進検討会議の開催	6
(2)	地域リハビリテーション支援事業	6
(3)	リハビリテーション専門職広域派遣支援事業	9
2	支援指導事業	
(1)	リハビリテーションに関する啓発普及	11
(2)	研修	11
3	福祉用具研修・普及事業	
(1)	研修	13
(2)	普及事業	14
(3)	バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況	16
4	リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業	
(1)	障害（児）者の自立に向けた支援機関連携モデル事業	18
(2)	補装具の適合・供給人材スキルアップ事業	22
II	バリアフリー推進工房の状況	
1	福祉用具・住環境に関する相談・支援事業	25
2	研究開発事業	26
3	技術普及・啓発	27
4	福祉用具の貸出	28
III	難病相談・支援センターの状況	
1	難病相談	29
2	患者交流会	29
3	研修会	29
4	連携会議	32
5	患者会支援	33
IV	高次脳機能障害相談・支援センターの状況	
1	高次脳機能障害相談	34
2	生活支援教室	34
3	就労者のつどい	34
4	家族教室	34
5	高次脳機能障害研修会	35
6	高次脳機能障害支援関係者連絡会	36

第1 施設の概要

1 庁舎

所在地 金沢市赤土町ニ13-1

敷地面積 7,534.62㎡

建物 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建

延べ床面積 4,356.77㎡

1階床面積 1,864.42㎡

2階床面積 1,140.05㎡

3階床面積 676.15㎡

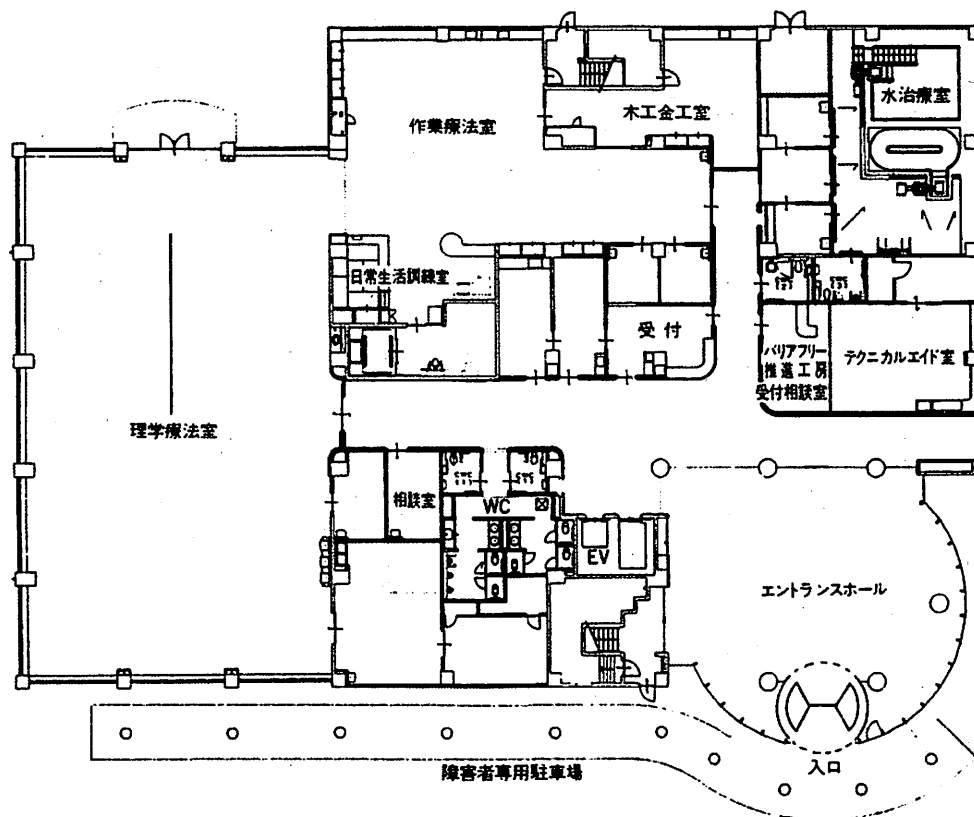
4階床面積 676.15㎡

その他 屋外訓練庭園 929.64㎡

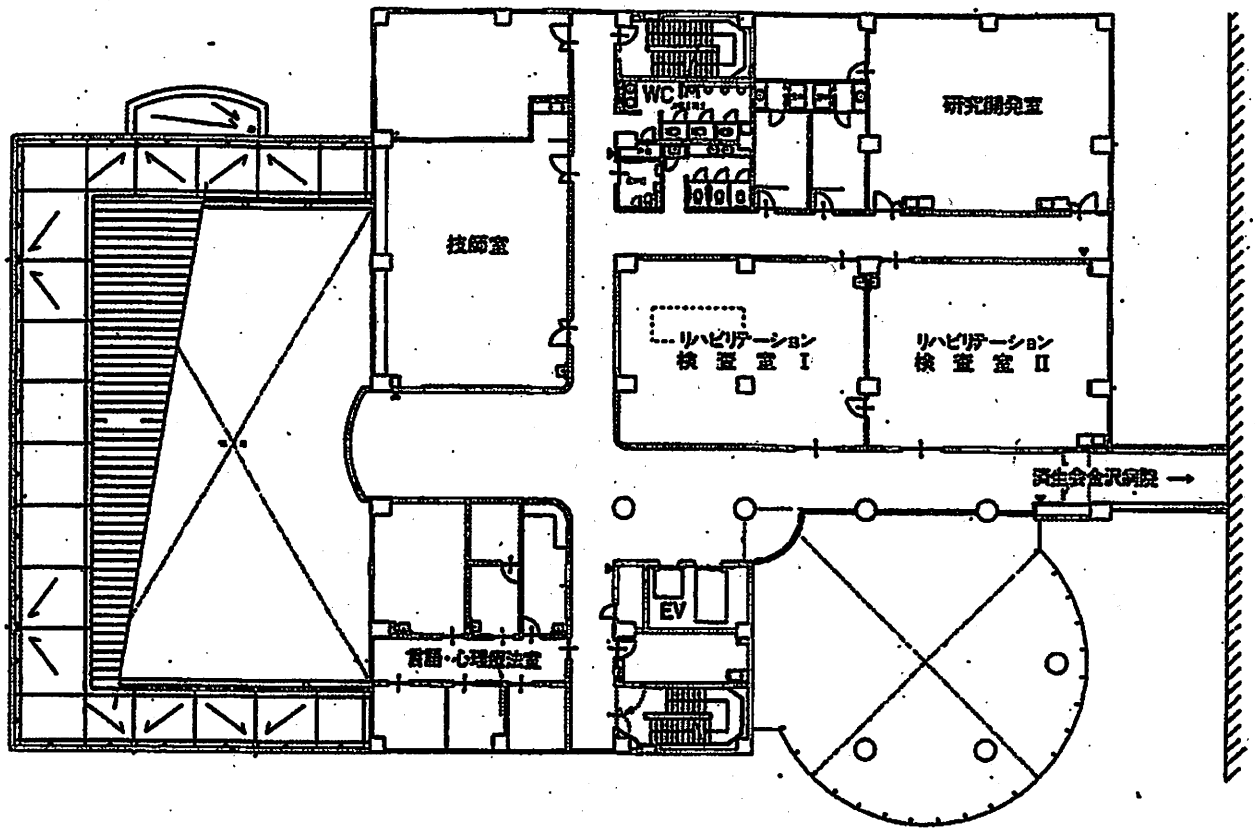
屋根付き障害者専用駐車場

プレハブ造車庫 46.75㎡

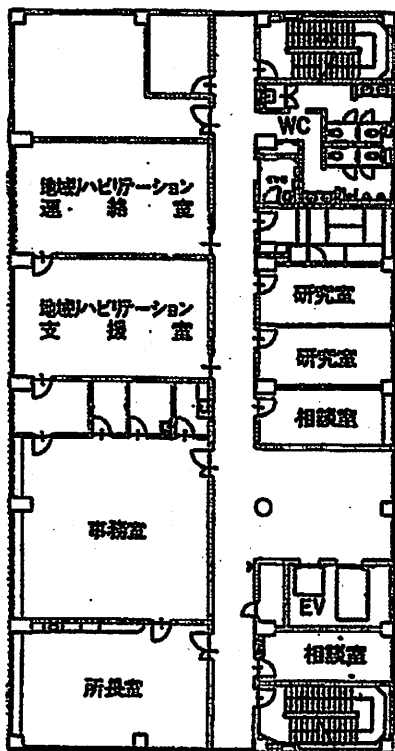
【1階平面図】



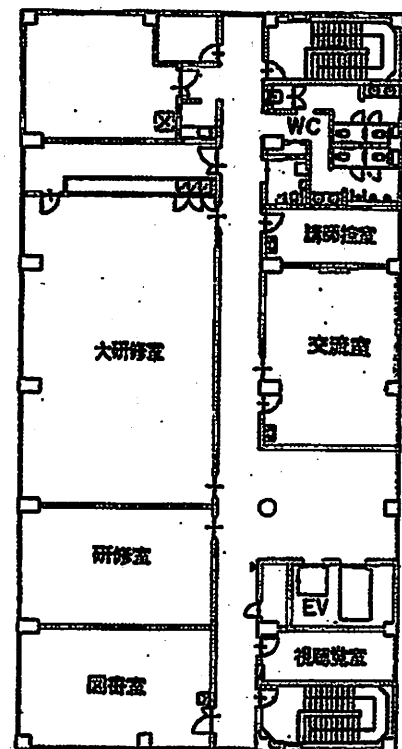
【2階平面図】



【3階平面図】



【4階平面図】



2 バリアフリー体験住宅ほっとあんしんの家

建築物 鉄骨造 2階建

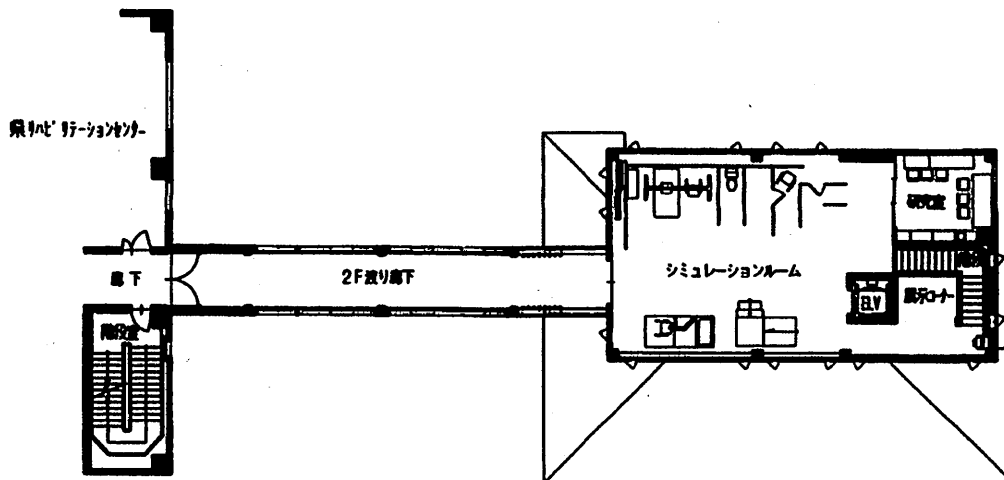
延べ面積 299.44㎡

1階 166.41㎡

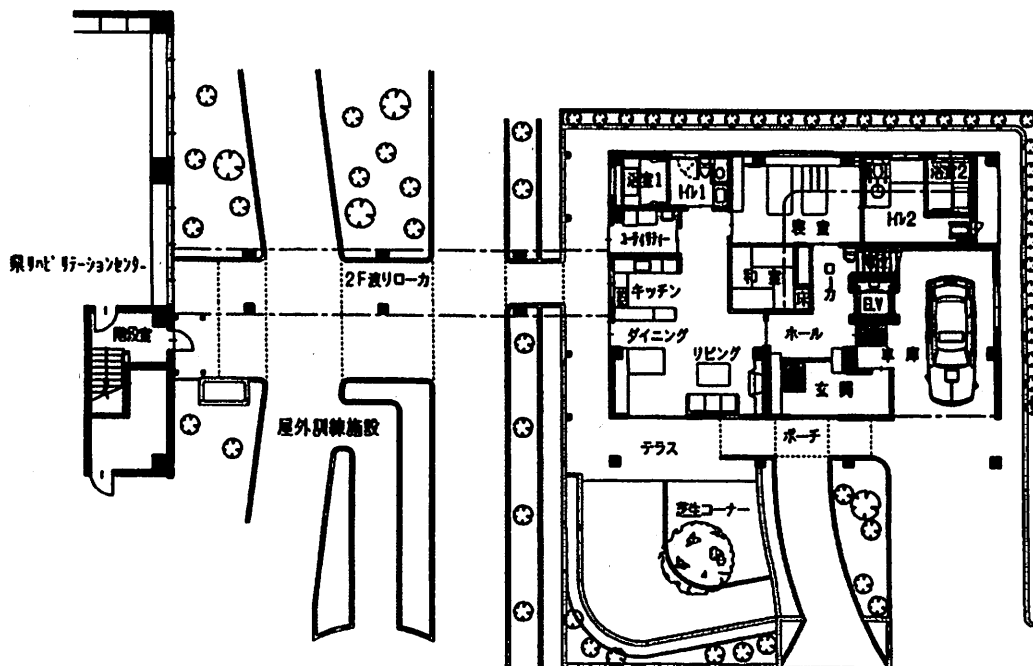
2階 133.03㎡

その他 渡り廊下 47.70㎡

計 347.14㎡



2階平面配置図



1階平面配置図

第3 職員数（平成28年4月1日現在）

1 事業別配置現員調

単位：人

区分	現員	総括	庶務課	支援課	バリアフリー 推進工房	医療提供 (派遣職員)
所長	①	①				
次長・工房長	(1) 3	2			(1)	1
課長	(3)		(1)	(1)	(1)	
担当課長	1			1		
主幹	① 4		2	1	① 1	
企画専門員	4			2	2	
福祉専門員	2			2		
専門研究員	①				①	
主任技師	4			4		
技師	1			1		
嘱託職員	3			3		
臨時職員	3		1	2		
計	(4) ③ 25	① 2	(1) 3	(1) 16	(2) ② 3	1

(注) () は所内における兼務職員数で内数、○は所外の兼務職員数で外数

2 職種別現員調

単位：人

区分	事務	事務 (福祉)	技 術							嘱託・ 臨時	計
			医師	保健師	理学療法士	作業療法士	リハビリ 工学技師	その他	小計		
現員	3	2	(1)1	4	1	5	1	2	(1)14	6	(1)25

(注) () は派遣職員数で内数

第4 平成27年度の事業実績

I 県リハビリテーション支援センターの状況

1 地域リハビリテーション推進事業

(1) 地域リハビリテーション推進検討会議の開催

①目的

高齢者や障害のある方々が住み慣れた地域で自立した生活を送るためには、リハビリテーションが総合的かつ一貫性をもって提供される必要がある。そこで、地域リハビリテーションサービスの相談・支援と関係機関との連携体制確立を図るため、県地域リハビリテーション推進検討会議を開催する。

②会議の構成

学識経験者、医師会等職能団体、患者、障害者団体、市町等の代表者

③実施状況

開催期日	主 な 議 題	出席者数
H28. 3. 23	平成27年度県リハビリテーションセンター事業の実施状況 平成28年度県リハビリテーションセンター事業の概要 その他	委員 16 人

(2) 地域リハビリテーション支援事業

高齢者や障害者が住み慣れたところで生き生きとした生活が送れるよう、地域の医療、保健、福祉、教育、就労に関係する機関に対して、リハビリテーション技術の支援及びリハビリテーション担当職員の人材育成のための研修を行う。

① 他機関への個別支援

依 頼 機 関	件数
医療機関	178 件
障害者総合支援法関連施設（障害者施設等）	159
教育機関（特別支援学校、特別支援学級等）	148
介護保険法関連施設	63
訪問リハビリテーション事業所	42
保健福祉センター	5
障害者の相談支援事業所	111
市町	88
身体障害者更生相談所	23
難病相談・支援センター	192
高次脳機能障害相談・支援センター	125
職業関連施設	6
その他	87
合 計	1227

② 福祉施設への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	7件
環境調整や福祉用具の支援	7
リハビリテーション関連委員会への参加	0
研修会講師	7
合 計	21

③ 教育機関への事業支援

支 援 内 容	件数
運動、作業、レクリエーション指導	0件
環境調整や福祉用具の支援	5
連絡会の参加	0
研修会講師	5
合 計	10

④ 市町、保健福祉センター等への事業支援

支 援 内 容	依 頼 元	件数
リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業に係る市町支援及び連絡調整会議	加賀市(3)、白山市(2)、奥能登地域自立支援協議会(2)、羽咋郡市障害者自立支援協議会(2)、内灘町(1)、川北町(1)、野々市町(1)	12件
県障害者自立支援協議会相談支援部会	県障害保健福祉課	3
H27年度地域づくりによる介護予防推進支援事業連絡会議	県長寿社会課	5
H27年度県認知症施策推進ネットワーク会議関係各課連絡会	県長寿社会課	1
特別支援学校のセンター的機能充実事業連絡会議	県立七尾特別支援学校、県立小松瀬領特別支援学校	2
能美市地域自立支援協議会定例支援会議	能美市	4
H27年度医商工連携促進協議会総会	県産業政策課、公益財団法人石川県産業創出支援機構	1
H27年度バリアフリー北陸信越ブロックリーダー会議	国土交通省北陸信越運輸局	1
H27年度バリアフリー研修in小松「障害のある方や高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと生活するために」	国土交通省北陸信越運輸局、小松市	1
医商工連携機関における介護・福祉機器開発の取り組み	経済産業省、NPOクラブ、一般財団法人日本立地センター	1
難病相談会「療養生活上でできる運動・体操～音楽とともに～」	能登北部保健福祉センター	1
パーキンソン病患者会研修会	能登中部保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族交流会	〃	1
パーキンソン病患者・家族のつどい	南加賀保健福祉センター	1
後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい	〃	1

支 援 内 容	依 頼 元	件数
平成27年度市町等身体障害者福祉事務担当者研修会	県身体障害者更生相談所	1
平成27年度バリアフリー条例に係る届出審査担当者講習会	県土木部建築住宅課	1
H27年度介護支援専門員等研修「住環境の調整や福祉用具を用いた自立支援について」	珠洲市地域包括支援センター	1
合 計		39

⑤ 社会復帰支援標準プログラム事業への支援（H27年度新規）

支 援 内 容	依 頼 元	件数
日常生活に必要な基本動作能力と体力の維持及び向上のための運動プログラム	金沢刑務所	6
日常生活に必要な基本的思考力の維持及び向上のための認知・作業プログラム	〃	8
合 計		14

⑥ 他機関への講師派遣、その他事業支援

研 修 会 及 び 講 義 名	依 頼 元	回数
臨床看護概論：リハビリテーション、理学療法、作業療法	石川県立看護大学	3回
医師・ケアマネ合同シンポジウム	公益社団法人金沢市医師会	1
リハビリテーションセンターの概要、福祉用具を用いた自立支援	金城大学理学療法学科、作業療法学科 1年生	1
健康福祉機器最新情報バリアフリー体験住宅設備・機器見学会	一般社団法人石川県鉄工機電協会	1
国立研究所開発法人新エネルギー・産業技術開発機構技術委員会	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	1
課題解決型の福祉用具開発とその支援策の在り方検討ヒアリング調査	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 株式会社 三菱総合研究所	1
日常生活を送る上での対応と工夫	県肢体不自由児協会、県肢体不自由児者父母の会	1
みんなで元気に活動を続けるために～身体のしくみとその場ですぐにはできる運動～	メンタルヘルスボランティア花の会	1
福祉機器講習	金沢大学理工学域機械工学類4年生	3
機能訓練指導員の実際（講義・実技指導）	石川県立盲学校	3
H27年度県介護支援専門員実務従事者基礎研修 加齢による運動機能不全、自立にむけた福祉用具の活用	社会福祉法人石川県社会福祉協議会福祉総合研修センター	1
H27年度バリアフリー住宅改修講習会	石川県土木部建築住宅課、NPO法人バリアフリー総合研究所	4
合 計		21

(3) リハビリテーション専門職広域派遣支援事業

① 市町事業に関わるリハビリテーション専門職の育成研修

地域包括ケアシステムで市町が実施する総合事業に関与できるリハビリテーション専門職の育成を行う。

(対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.7.4(土) 13:00～17:30	<p>「地域包括ケア実現に向けた介護保険制度の概要」 講師：県長寿社会課</p> <p>「地域包括ケアと介護予防～リハビリテーション専門職は何をすべきか～」 講師：兵庫県丹波県民局丹波健康福祉事務所 所長 逢坂 悟郎</p> <p>「第6期能美市介護保険事業計画とリハビリテーションとの連携」 講師：能美市健康福祉部介護長寿課高齢者かがやき支援室 課長 山下 実千代</p>	リハビリテーションセンター	135人
H27.7.5(日) 9:00～14:30	<p>「認知症の理解と現状、介護予防事業への適応と工夫」 講師：県立高松病院 病院長 北村 立</p> <p>「実践報告：小松市の新しい総合事業に向けて～地域包括支援センター事業担当者の役割とリハ専門職との連携～」 講師：小松市長寿介護課 主査 角地 孝洋 (保健師)</p> <p>「実践報告：能美市の取組から～リハビリテーション専門職に求められていること～」 講師：能美市健康福祉部介護長寿課高齢者かがやき支援室 笹島 亜希子 (理学療法士) 高橋 理恵 (作業療法士)</p> <p>「参加型演習 (グループワーク)」 講師：県理学療法士、県作業療法士、県言語聴覚士協会代表</p>	リハビリテーションセンター	135人

② リハビリテーション専門職の連携体制づくり

市町が実施する介護保険の総合事業においてリハビリテーション専門職派遣の必要性が生じた時に対応できる体制づくりを目的とする。

(対象：県理学療法士、作業療法士、言語聴覚士会の代表)

ア リハビリテーション連絡会議の開催 (計6回)

回次	実施年月日	議題	会場
1	H27.5.25(月)14:00～16:00	リハ専門職の育成研修について、技術普及の方法について	リハビリテーションセンター
2	H27.7.24(金)16:00～18:00	リハ専門職育成研修のまとめ	〃

回次	実施年月日	議題	会場
3	H27.8.17(月)19:00～21:00	リハ専門職と市町連携の取り組みについて	リハビリテーションセンター
4	H27.9.14(月)16:00～19:00	今後の取り組み事業について	〃
5	H27.12.14(月)16:00～19:00	加賀市モデル事業実施について、介護予防評価用紙について、パンフレットについて	〃
6	H28.1.31(日)12:30～14:30	加賀市モデル事業の結果と今後の取り組みについて	加賀市市民会館

イ 啓発普及のためのパンフレット「地域包括ケアとリハビリテーション」3,000部を作成した

ウ 啓発普及のためのモデル事業（シンポジウム）の開催

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H28.1.31(日) 9:00～12:30	<p>シンポジウム テーマ 「加賀市における地域包括ケアとリハビリテーション」 座長：(公社)石川県作業療法士会 会長 進藤 浩美</p> <p>シンポジスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者こころまちセンター [加賀市地域包括支援センター] 所長 山下 晴浩 ・加賀市在宅医療連携推進協議会 代表 橘 秀樹 ・加賀市社会福祉協議会地域福祉係 主幹 辻 利英子 ・介護老人保健施設太陽の丘 西田 寛之(理学療法士) ・介護老人保健施設葵の園・丘の上 西村 幸盛(作業療法士) ・介護老人保健施設加賀のぞみ園 中森 清孝(作業療法士) 	加賀市市民会館	137人

2 支援指導事業

(1) リハビリテーションに関する啓発普及

①リハビリテーションセンターニュースの発行（毎年5月、3月の2回発行）

県内のリハビリテーション関係者ならびに医療・福祉関係機関等に対して、当センターの活動及び関連情報等を紹介することによりリハビリテーションの普及啓発を図る。

（対象：県、市町、保健福祉関係団体、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が勤務する機関、地域包括支援センター、障害者の相談支援事業所、居宅介護支援事業所、福祉用具サービス事業所、特別支援学校・学級、介護老人福祉施設、障害者福祉サービス事業所、児童発達支援センター、障害児通所支援事業所等を対象に5月号を1, 527部発行した。）

(2) 研修

①リハビリテーション医療専門職研修会

リハビリテーション医療に関する最新情報や先進的な取り組みについて研修し、リハビリテーション専門職の資質向上を図る。

（対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.7.11(土) 14:00～17:00	「地域現場での循環動態の診方とリスク管理の考え方」 講師：榊原記念病院 齋藤 正和（理学療法士）	リハビリテーションセンター	111人
H27.9.26(土) 14:00～16:00	「地域生活を支える高次脳機能障害へのアプローチ」 講師：横浜市総合リハビリテーションセンター 山崎 文子（作業療法士）	〃	64
H28.1.23(土) 14:00～17:00	「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションへの期待」 講師：あおぞら診療所 院長・理事長 川越 正平（医師）	〃	78
H28.3.5(土) 14:00～17:00	「自動車運転とリハビリテーション」 講師：井野辺病院 総合リハビリテーションセンター 加藤 貴志（作業療法士） 「当センターの自動車運転技術支援について」 県リハビリテーションセンター 作業療法士	〃	74
合計			327

②教職員リハビリテーション研修

障害のある児童・生徒を担当する教職員に対して、学校生活における自立支援および社会参加のためのリハビリテーションに関する知識、技術の向上をはかる

(対象：特別支援学校や特別支援学級の教職員等)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.7.30(木) 10:00～12:00	講演会 「将来を見据えた発達支援と活動について」 講師：静岡県立こども病院 鴨下 賢一（作業療法士）	いしかわ特別支援学校	238人
13:30～15:30	分科会 「いろいろな姿勢をとることの大切さ～姿勢変換の利点と方法～」 講師：リハビリテーションセンター職員		49
合計			287

3 福祉用具研修・普及事業

福祉用具や住宅改修の活用により、障害児・者の学校や職場を含めた日常生活において、自立度の高い生活の促進や介護者の負担を軽減するための支援技術の普及や意識啓発を目的とした研修等の事業を実施する。

(1) 研修

① 福祉用具活用研修会

(対象：県内の医療機関、介護保険事業所、障害者総合支援法関連事業所等の職員)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.10.20(火) 13:30～16:00	「介護負担軽減に向けて～移乗動作に必要な身体機能を知る～」 講義 講師：特別養護老人ホーム こすもす 副施設長 水上 直彦 (理学療法士)	リハビリテーションセンター	50人
H27.11.17(火) 13:30～16:00	「介護負担軽減に向けて～福祉用具の活用～」 実技 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	46
H27.12.6(日) 10:30～16:30	「「したい」想いを叶えるためにICFからみた用具支援」 講義、実技 講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部 教授 古田 恒輔 (作業療法士)	〃	35
合計			131

② 職場環境改善研修会

(対象：県内の介護保険関連施設および障害者総合支援法関連施設の責任者等)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.8.28(金) 13:30～16:30	「職場環境改善を視点とした福祉用具の活用」 講義 (1)第一部：「自生園での取り組み」 講師：社会福祉法人自生園 特別養護老人ホーム自生園 施設長 今井 要 課長 西場 芳江 介護福祉士 久木 孝洋 (2)第二部：「職場定着支援助成金」の事業説明 講師：石川労働局職業安定部職業対策課 地方雇用開発担当官 石田 淳	リハビリテーションセンター	44人

③ 補装具に関する研修会 (対象：補装具取扱業者、医療機関職員、福祉施設職員等)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.6.27(土) 14:00～16:30	「平成27年度補装具研修」 平成27年度補装具費支給制度の概要とその活用について 講師：県身体障害者更生相談所職員 リハビリテーションセンター職員	リハビリテーションセンター	60人

④ 福祉用具実技研修会 (対象：相談支援専門員、介護支援専門員、市町職員等)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.7.22(水) 10:00～13:00	「生活の中で活用する福祉用具の考え方」 講師：リハビリテーションセンター職員	能登中部保健福祉センター	16人

(2) 普及事業

① バリアフリー普及・啓発事業 (対象：一般県民)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.10.11(日) 10:00～16:00	「旅に行こう！旅を楽しもう！」 (障害者ふれあいフェスティバル) 福祉車両相談会 外出関連機器展示 相談・説明員：リハビリテーションセンター職員	産業展示館4号館	20人 200人
合計			220人

② 県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生のための福祉用具・住環境技術実習
(対象：県内の理学療法士、作業療法士養成校の学生等)

実施年月日	内容	学校名、学科名、学年	参加者数
H27.7.27(月) 13:00～16:30	・テクニカルエイドによる生活支援 ・車いす ・住環境	金沢大学医薬保健学域保健学類 作業療法学専攻3年	21人
H27.6.22(月) 13:45～15:45	・移乗動作(簡易移乗機、リフト等)	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学療法学専攻3年	20
H27.7.6(月) 13:45～15:45	・移動(車椅子)	〃 〃	20
H27.7.13(月) 13:45～15:45	・片麻痺・対麻痺のADL、住環境について	〃 〃	20
H27.6.19(金) 13:00～16:00	・テクニカルエイドについて・自動車運転に関して ・住環境からみる移乗・排泄・入浴動作	国際医療福祉専門学校七尾校 作業療法学科2年	8
H27.6.29(月) 13:00～16:00	・座位姿勢・車いす ・コミュニケーション	〃 〃	8
H27.9.3(木) 10:00～15:00	・住環境 ・福祉用具	国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科1年	33
H27.9.7(月) 13:00～15:30	・ほっとあんしんの家での見学実習	富山医療福祉専門学校 理学療法学科1年	26
H27.9.17(木) 13:10～15:25	・ほっとあんしんの家での見学実習	金沢大学医薬保健学域保健学類 理学・作業療法学専攻2年	40
H28.2.15(月) 9:00～17:00	・施設見学	専門学校金沢リハビリテーション アカデミー 理学・作業療法学専攻1年	70

実施年月日	内 容	学校名、学科名、学年	参加者数
H28. 2. 16(火) 9:00～17:00	・チームアプローチについて ・移乗動作	専門学校金沢リハビリテーション アカデミー 理学・作業療法学専攻1年	70
H28. 2. 17(水) 9:00～17:00	・移動機器 ・車椅子	” ”	70
H28. 2. 18(木) 9:00～17:00	・住環境について ・日常生活動作実習の課題	” ”	70
H28. 2. 22(月) 9:00～16:25	・施設見学・移動動作・福祉機器 ・車椅子	金城大学医療健康学部 作業療法学科1年	45
H28. 2. 24(水) 9:00～17:00	・日常生活動作実習の課題報告 ・コミュニケーション機器	専門学校金沢リハビリテーション アカデミー 理学・作業療法学専攻1年	70
H28. 2. 25(木) 9:00～17:00	・自動車運転・改造について ・疾患別日常生活動作について	” ”	70
H28. 2. 26(金) 9:00～16:25	・施設見学・移動動作・福祉機器 ・車椅子	金城大学医療健康学部 理学療法学科1年	71
合 計			732

- ③ テクニカルエイド普及展示会 (※テクニカルエイド：福祉用具や住環境に関するリハビリテーション技術支援)
(対象：特別支援学校や特別支援学級の教職員等)

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
H27. 7. 30(木) 9:00～16:00	福祉用具及び福祉車両の展示	いしかわ特別支援学校	316人

- ④ リハビリテーションセンターでの見学実習及び体験学習

ア 医療・保健・福祉・工学関係分野の学生や団体等を対象にした体験学習

	高 校	福祉系専門 学校	大 学	企 業	その他	合 計
受入団体数	3	11	7	1	0	22
見学者数	45	183	267	25	0	520

イ 小・中学生 (ジュニアコース) を対象にした体験学習

	小学校	中学校	合計
受入団体数	5	3	8
体験者数	261	147	408

ウ 高齢者疑似体験用具の貸出

	小学校	中学校	高 校	専門学校	企 業	その他	合計
貸出件数	34	12	2	2	14	4	68

(3) バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」の利用状況

高齢者や障害者が住みやすいバリアフリー体験住宅として見学者の受け入れを行うとともに、県内の医療及び福祉関係者、企業等に対して福祉用具や住宅改修に関する研究、開発、教育の場として提供し、必要な場合は外部の有識者等による技術支援を行う

区 分	内 容	利用人数		利用件数	
		26年度	27年度	26年度	27年度
研究・開発	県内企業、団体等における福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発の場として利用	88	140	29	39
テクニカルエイド相談 福祉用具や住環境を用いた障害者への自立支援	障害者や高齢者に対して自立を促進するための福祉用具の試用・適合、住宅設計を検討する場として利用	594	517	139	129
研修教育	先端的なバリアフリー体験住宅として医療・福祉専門職や学生等の教育研修の場として利用	1987	2432	82	84
一般見学	生涯住宅としたバリアフリー住宅の提案の場として利用	653	531	95	66
合 計		3322	3620	345	318

<参考> ほっとあんしんの家利用状況

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用 総 数	平成23年度	件数	21	25	23	25	19	24	25	20	14	14	22	15	247	
		人数	144	298	470	172	125	344	246	215	98	93	491	111	2,807	
	平成24年度	件数	21	18	28	28	21	20	27	20	9	9	18	14	233	
		人数	104	338	436	197	131	302	447	285	55	57	421	98	2,871	
	平成25年度	件数	18	33	35	32	29	21	3	0	0	0	33	32	236	
		人数	117	406	385	336	213	150	13	0	0	0	762	194	2,576	
	平成26年度	件数	31	37	47	41	37	25	28	33	15	15	20	16	345	
		人数	154	248	516	325	257	294	282	407	125	98	517	99	3,322	
	平成27年度	件数	19	22	31	29	25	28	33	33	20	22	28	28	318	
		人数	56	191	336	331	274	379	399	404	184	146	706	214	3,620	
	一 般	平成23年度	件数	7	6	8	10	2	9	8	5	3	2	1	5	66
			人数	16	13	167	49	3	60	89	9	6	2	1	7	422
内県政バス		件数	-	0	3	0	0	1	2	0	-	-	-	-	6	
		人数	-	0	119	0	0	43	58	0	-	-	-	-	220	
平成24年度		件数	10	6	10	10	4	7	9	6	2	1	1	5	71	
		人数	13	54	115	63	4	47	195	102	3	2	2	8	608	
内県政バス		件数	-	1	3	1	0	0	5	1	-	-	-	-	11	
		人数	-	44	96	29	0	0	189	47	-	-	-	-	405	
平成25年度		件数	3	8	19	12	8	5	0	0	0	0	15	14	84	
		人数	10	81	115	95	15	10	0	0	0	0	46	57	429	
内県政バス		件数	-	1	1	1	0	0	0	0	-	-	-	-	3	
		人数	-	52	38	32	0	0	0	0	-	-	-	-	122	
平成26年度		件数	14	9	18	10	7	6	9	10	2	2	3	5	95	
		人数	48	58	187	127	41	33	68	62	8	8	4	9	653	
内県政バス		件数	-	1	3	3	0	0	1	0	-	-	-	-	8	
		人数	-	43	105	114	0	0	37	0	-	-	-	-	299	
平成27年度		件数	6	5	4	11	6	8	8	2	1	3	2	10	66	
		人数	10	117	27	67	44	128	57	37	5	5	6	28	531	
内県政バス	件数	-	3	0	1	1	2	1	0	-	-	-	-	8		
	人数	-	113	0	37	37	92	30	0	-	-	-	-	309		
研 修 教 育	平成22年度	件数	1	4	5	2	10	3	2	2	2	1	5	3	40	
		人数	2	203	181	18	86	119	95	44	15	5	283	140	1,191	
	平成23年度	件数	3	4	5	6	6	5	7	5	2	3	11	1	58	
		人数	45	192	211	48	42	213	76	136	24	36	424	38	1,485	
	平成24年度	件数	2	4	10	5	7	6	5	7	2	1	6	2	57	
		人数	25	223	262	55	83	197	172	139	13	14	358	57	1,598	
	平成25年度	件数	1	5	7	8	8	3	0	0	0	0	11	5	48	
		人数	39	218	212	162	126	86	0	0	0	0	696	78	1,617	
	平成26年度	件数	3	5	13	9	14	7	5	9	2	3	9	3	82	
		人数	28	97	267	127	147	218	154	297	77	54	468	53	1,987	
	平成27年度	件数	2	2	12	6	6	5	9	14	5	6	12	5	84	
		人数	11	22	275	212	179	193	264	310	115	86	630	135	2,432	
相 談	平成23年度	件数	10	12	10	9	10	9	10	9	8	6	8	9	110	
		人数	82	82	92	75	79	66	81	68	66	44	63	66	864	
	平成24年度	件数	9	8	8	13	9	7	13	6	5	7	7	5	97	
		人数	66	61	59	79	43	58	80	42	39	41	48	27	643	
	平成25年度	件数	8	9	7	6	8	8	3	0	0	0	6	8	63	
		人数	44	58	54	44	57	42	13	0	0	0	18	34	364	
平成26年度	件数	11	15	13	19	13	8	12	14	10	8	8	8	139		
	人数	72	65	57	66	60	26	52	48	34	32	45	37	594		
平成27年度	件数	10	13	11	11	10	9	13	10	10	10	12	10	129		
	人数	31	47	28	44	45	33	58	32	46	47	63	43	517		
研 究 開 発	平成23年度	件数	1	3	0	0	1	1	0	1	1	3	2	0	13	
		人数	1	11	0	0	1	5	0	2	2	11	3	0	36	
	平成24年度	件数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	2	8	
		人数	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	13	6	22	
	平成25年度	件数	6	11	2	6	5	5	0	0	0	0	1	5	41	
		人数	24	49	4	35	15	12	0	0	0	0	2	25	166	
	平成26年度	件数	3	8	3	3	3	4	2	0	1	2	0	0	29	
		人数	6	28	5	5	9	17	8	0	6	4	0	0	88	
	平成27年度	件数	1	2	4	1	3	6	3	7	4	3	2	3	39	
		人数	4	5	6	8	6	25	20	25	18	8	7	8	140	

※平成25年度は、改修工事のため平成25年10月11日（金）～平成26年1月31日（金）まで臨時休館

4 リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業

障害者総合支援法や県の地域医療再生計画により、高齢者や障害者の自立支援が重要視される中、平成24年度に実施したリハビリテーション機能強化検討会及びアンケート等の結果を踏まえ、身近な地域で福祉用具や住宅改修等によるリハビリテーション技術支援体制の充実を図ることで、高齢者や障害者が自立した在宅生活や積極的な社会参加を促進する。

(1) 障害(児)者の自立に向けた支援機関連携モデル事業

地域におけるリハビリテーション技術支援の活性化や効率化を図るため、市町の基幹相談支援センター等を窓口とした支援機関の連携によるモデル事業を実施し、ケースに関わる支援者が一堂に会した合同ケース検討会等を通じて、各地域における支援者同士のネットワークづくり及び適切なリハビリテーション技術支援が提供できる相談支援体制の充実を目指す。

①特別講演及び報告会

本事業の普及啓発及び本年度モデル事業の募集を行うため、国内で先進的に障害者相談支援体制づくりに取り組む機関による特別講演会及び昨年度にモデル事業を実施した県内4地域による事業報告会を開催した。

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.6.12(金) 13:30~17:00	<p>【特別講演】 「半田市における障がいのある人々の地域支援～地域包括ケアとリハビリテーション～」 講師：(社福)半田市社会福祉協議会 半田市障がい者相談支援センター長 加藤 恵</p> <p>【報告会】 七尾市・中能登町：さいこうえんの障害者生活支援センター 施設長 細木 俊逸 かほく市：かほく市健康福祉課 池田 睦美 前川 直樹 津幡町：津幡町町民福祉部長寿介護課 東 幾子 西谷 すずな 小松市：小松市自立支援協議会事務局 こまつ障がい者総合相談支援センター 所長 能勢 三寛</p>	リハビリテーションセンター	65人

②モデル事業の実施：4地域（珠洲市・輪島市・能登町・穴水町、羽咋市・志賀町・宝達志水町、白山市、加賀市）

ア. 珠洲市・輪島市・能登町・穴水町（委託先：奥能登地域自立支援協議会）

実施事項	内 容
リハビリテーション技術支援に関する検討会等の実施	<p>(1) 合同ケース検討会（H28. 2. 29） 参加者：相談支援専門員、看護師、市町職員、県リハセンターほか17名 場 所：輪島市文化会館 会議室 内 容：県リハセンターの職員を招き、奥能登における難病・身体障害のある在宅障害者への支援経過及び支援者の連携状況を検討し、相談支援専門員はじめ地域支援者らが今後のリハ技術支援について知識を深める機会とした。</p> <p>(2) リハビリテーションセンター視察・学習会（H28. 2. 2） 参加者：相談支援専門員、市町職員、県リハセンターほか19名 場 所：石川県リハビリテーションセンター 内 容：県リハセンターの役割と事業に関する学習会及び先進の福祉用具、バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」を見学し、当センター及び支援者同士の連携について検討した。</p>
リハビリテーション技術支援の啓発・普及	<p>(1) リハ技術支援ネットワーク支援者研修の開催（H28. 3. 28） 参加者：相談支援専門員、リハ専門職、市町職員ほか26名 場 所：奥能登行政センター 42会議室 演 題：「奥能登地域におけるリハ専門職の役割と実践を考える」 講師：珠洲市総合病院 リハビリテーション科長 平 昇市 氏 演 習：「症例を通して、ICFの視点で学ぶ」 コーディネーター：石川県言語聴覚士会 副会長 徳田紀子 氏 内 容：奥能登地域の支援者同士の関係づくりや地域でのリハ技術支援ネットワークのあり方、ICFの視点による支援方法について理解深める機会とした。</p>
その他	<p>(1) 先進地視察（H28. 3. 3～4） 参加者：相談支援専門員、市町職員9名 視察先：社会福祉法人みなと舎（重症心身障害・重度重複障害者の施設） 内 容：相談事業、ヘルパー事業、ケアホーム事業、ショートステイ事業など地域生活を支援する様々な事業について学んだ。</p>

イ. 羽咋市・志賀町・宝達志水町（羽咋郡市障害者自立支援協議会）

実施事項	内 容
リハビリテーション技術支援に関する検討会等の実施	(1) 研修会及びグループワークの開催 参加者：自立支援協議会委員、障害支援事業所職員、市町職員、介護支援事業所職員等 第1回「精神障害を知ろう」 参加者：59名 講師：ぱいんの家 就労支援事業所管理者 木谷 昌平氏 らいず訪問看護ステーション管理者 宮本 満寛氏 第2回「基本的なかかわりについて～事例を通して考える」 参加者：66名 講師：らいず訪問看護ステーション管理者 宮本 満寛氏
リハビリテーション技術支援の啓発・普及	(1) 羽咋郡市福祉施設マップおよびホームページ作成 依頼先：石川サニーメイト 内 容：羽咋郡市の福祉施設マップおよびサービス内容
その他	(1) 先進地視察 参加者：自立支援協議会委員、障害支援事業所職員、市町職員等19名 視察先：リハビリ型就労スペース「リハス」および施設外就労先（ごはん処やよい軒） NPO法人 就労移行支援事業所リエゾン

ウ. 白山市

実施事項	内 容
リハビリテーション技術支援に関する検討会等の実施	<p>(1) 合同ケース検討 参加者：相談支援専門員 11 名、県リハセンター職員 3 名、市職員 6 名 内 容：補装具の選定の際、本人、家族、病院、リハビリテーションセンター、相談支援専門員、市、その他関係機関とのネットワークによる連携体制をとり、本人の生活全般を勘案することで、適切な補装具の選定が可能になり、本人の生活の質の向上につながることを確認できた。</p>
リハビリテーション技術支援の啓発・普及	<p>(1) 共生の街づくり講演会の開催 (H27. 11. 29) 参加者：市民 160 名 場 所：白山市民交流センター 演 題：「街づくりミーティング～障害のある人もない人も共に暮らす街、白山～」 講 師：NPO 地域生活支援ネットワーク理事長 北野 誠一 氏 他当事者 内 容：障害を社会的な障壁ととらえ、当事者の思いを聞きながら「共生の街づくり」を考えた。</p> <p>(2) 福祉用具啓発事業の開催 (H27. 9. 27) 参加者：200 名程度 場 所：白山市松任総合運動公園体育館 内 容：白山市福祉健康まつりに福祉用具を展示し、市民が福祉用具の利用体験をする等、理解啓発に努めた。</p>
その他	<p>(1) 先進地視察 (H27. 11. 20-21) 参加者：白山市共生の街づくり推進協議会（自立支援協議会）関係者 16 名（障害当事者 1 名、家族 1 名、事業所 12 名、手話通訳者 2 名） 市職員 8 名（健康福祉部長、高齢者支援センター、長寿介護課、こども相談室、発達相談センター、障害福祉課） 視察地：知多リハビリテーション病院 半田市障がい者相談支援センター テーマ：リハビリテーションとの連携による基幹相談機能強化のための視察研修 内 容：障害のある人、児童、高齢者が自立した日常生活を送るため、リハビリテーションセンターの機能を知り、センターとの連携方法を学んだ。</p> <p>(2) バリアフリー街づくりのためのタウンチェック (H28. 3. 5) 参加者：聴覚障害者 2 名、視覚障害者 2 名、肢体障害者 4 名、ボランティア 12 名、市職員 5 名 場 所：松任駅前周辺と公共施設 内 容：白山市において障害のある人も安心して生活できる街づくりをハード面での合理的配慮の視点から現状確認をした。</p>

エ. 加賀市

実施事項	内 容
リハビリテーション技術支援に関する検討会等の実施	(1) リハビリテーションセンター視察・学習会 (H27. 12. 22) 参加者：障害者相談支援専門員 9名、加賀市職員 2名 場 所：石川県リハビリテーションセンター 内 容：当センターの役割と連携についての学習会及び福祉用具、「ほっとあんしんの家」の見学を実施。
リハビリテーション技術支援の啓発・普及	(1) 勉強会の開催 (H28. 3. 30) 参加者：障害者相談支援専門員 4名、市内OT・PT・ST 9名、加賀市職員 2名 内 容：地域でのリハビリテーションネットワークの在り方について学ぶ。
その他	(1) 福祉ガイドブックにイラストを用いた日常生活用具の掲載 (2) 福祉用具相談や意思疎通支援を行うにあたり必要な機器 (タブレット) の購入

(2) 補装具の適合・供給人材スキルアップ事業

① 自立支援型プランニング実践研修

障害者の相談支援専門員や介護支援専門員(ケアマネージャー)等を対象に、自立支援型サービス計画の視点を重視したプランニング実践研修(3回1コース)を実施し、地域での確なりハビリテーション技術支援のコーディネートができる人材育成を図る。

(平成27年度修了証取得者：13名)

実施年月日	内容及び講師	会 場	参加者数
第1回 H27. 6. 24(水) 10:00~15:00	① 「身体特性を生かした自立度の高い生活の実現をめざして」 講師：NPOバーチャルメディア工房 理事長 上村 数洋 金沢美術工芸大学 名誉教授 荒井 利春 ② 自立を視点においたプランニング実践について」 講師：さいこうえんの障害者生活支援センター 相談支援専門員 細木 俊逸 恵寿総合病院 作業療法士 川上 直子 (株) ライフワン 福祉用具専門相談員 高島 一	能登中部 保健福祉 センター	24人
第2回 H27. 7. 22(水) 10:00~16:30	① 「生活の中で活用する福祉用具の考え方」 講師：リハビリテーションセンター職員 ② 「自立を視点においたアセスメントへの取り組みポイント」 講師：ケアマネウイズだいこんの花 社会福祉士・主任介護支援専門員 小島 操	〃	16人
第3回 H27. 8. 19(水) 13:30~16:30	「事例演習」 講師：ケアマネウイズだいこんの花 社会福祉士・主任介護支援専門員 小島 操	〃	14
合 計			54

③ 装具適合・製作等実践的技術研修（H27年度テーマ「座位保持装置」）

リハビリテーション専門職や福祉用具専門相談員等を対象に、電動車椅子、車椅子、座位保持装置、重度障害者用意思伝達装置等の補装具に関する適合・選定・改良・製作等の実践的セミナー（6回1コース）を実施し、地域で補装具等を活用したリハビリテーション技術支援ができる人材育成を図る。（平成27年度修了証取得者：40名）

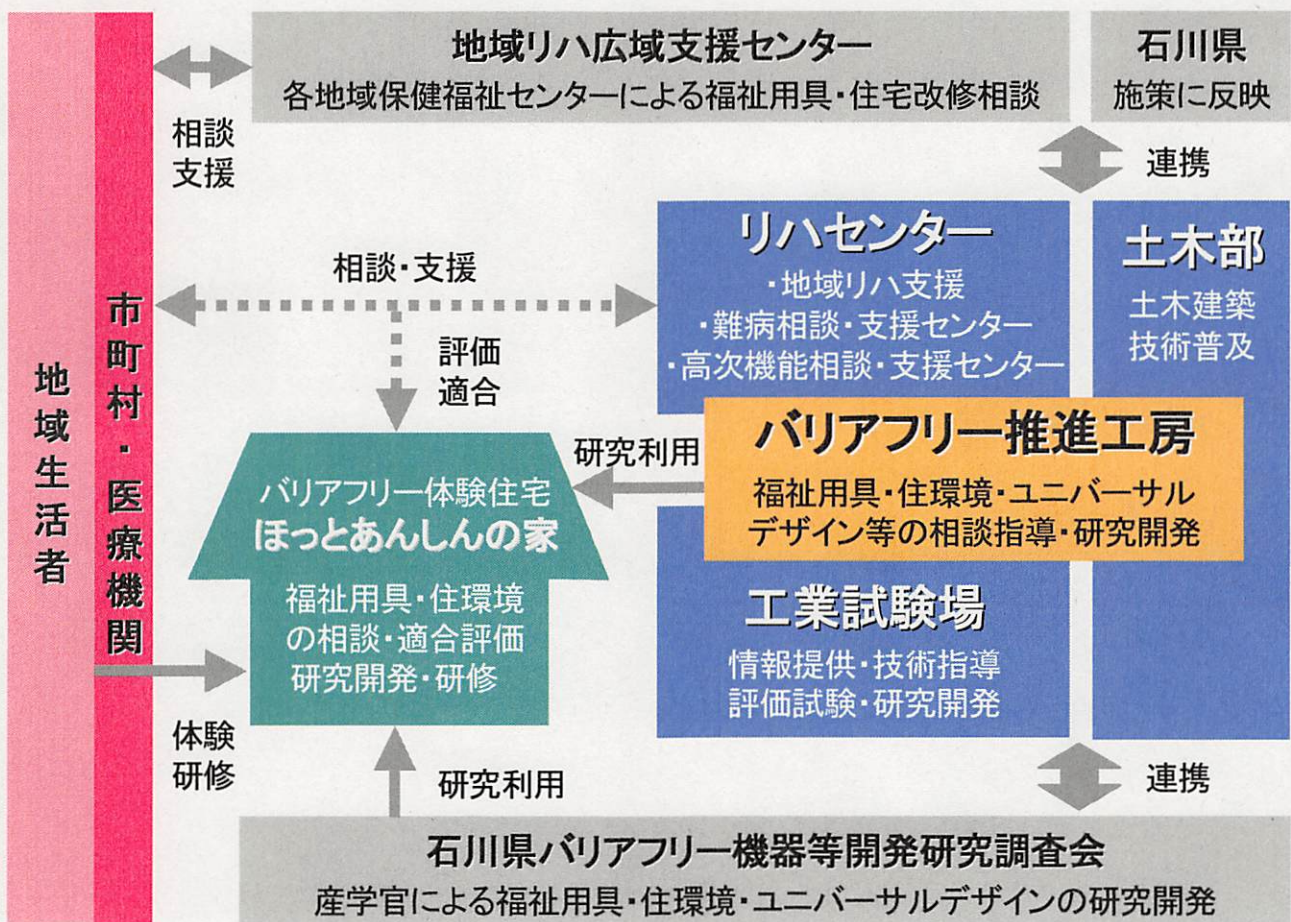
実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
第1回 H27.8.1(土) 14:00～17:00	講義 「重度身体障害児・者のためのポジショニングとシーティング」 講師：神奈川県立保健福祉大学 作業療法士 岸本 光夫	リハビリ テーショ ンセンタ ー	76人
第2回 H27.9.12(土) 14:00～17:00	講義・演習 「重度な障害がある方の姿勢の評価と機器の適合」 講師：福井県こども療育センター 理学療法士 辻 清張	〃	85
第3回 H27.10.24(土) 14:00～17:00	講義・演習 「座位保持装置の実現にむけて①」 講師：横浜市総合リハビリテーションセンター テクニカルアドバイザー 飯島 浩	〃	64
第4回 H27.12.19(土) 14:00～17:00	講義・演習 「補装具制度」「具体的な座位保持装置プランニングの実践」 講師：更生相談所職員、リハビリテーションセンター 職員	〃	52
第5回 H28.1.16(土) 10:00～16:00	講義・演習 ①「座位保持装置の実現にむけて②」 講師：(株)コーヤシステムデザイン 代表取締役 松野 史幸 ②「事例演習①」 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	57
第6回 H28.2.6(土) 14:00～17:00	演習 「事例演習②」 講師：リハビリテーションセンター職員	〃	46
補講 H28.3.12(土) 14:00～17:00	演習 「事例演習」 講師：リハビリテーションセンター職員	ほっとあ んしんの 家	12
合計			392

II バリアフリー推進工房の状況

健康福祉社会の構築と新産業の創出に向けて、リハビリテーションセンター、工業試験場、土木部建築住宅課および健康福祉部厚生政策課の連携により、障害者の自立生活支援、福祉用具の開発、製品・住環境のユニバーサルデザイン研究等を行っている。

事業と組織の概要

- ・ 障害者個々へのリハビリテーション工学支援技術（福祉用具・住宅改修等による自立生活支援技術）の提供
- ・ 障害者のニーズ把握と身体特性データの蓄積
- ・ リハビリテーション工学支援技術の体系化
- ・ 産学官連携による福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品の研究開発
- ・ 県内企業・大学・医療福祉関係機関等への情報提供と技術普及



1 福祉用具・住環境に関する相談・支援事業

(1) 医療・福祉機関等が既存技術で解決できない福祉用具や住環境等の相談・指導

実績：798件

(2) 企業に対する福祉用具、ユニバーサルデザインの相談・指導

実績：331件

(3) 行政に対する福祉用具、ユニバーサルデザインに対する相談・指導

実績：199件

依頼元別内訳

単位：件

依頼元	TA相談	情報提供	設計開発 相談	試作製品 評価	合計
医療福祉機関等	634	44	6	0	684
教育機関等	57	24	1	0	82
企業等	17	181	128	22	348
行政・公共団体等	90	90	33	1	214
合計	798	339	168	23	1,328

※TA相談：福祉用具活用・住宅改修等によるリハ技術支援に関する相談

用具分類別内訳

単位：件

分類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合計
治療訓練用具	0	3	1	1	5
義肢・装具	28	4	6	0	38
パーソナルケア関連用具（トイレ・入浴・他）	31	15	7	1	54
移動機器（車椅子クッション・他）	16	3	2	2	23
移動機器（リフト）	33	7	6	1	47
移動機器（移乗・体位変換用具）	12	4	11	1	28
移動機器（視覚障害者用機器）	0	1	2	0	3
移動機器（自動車）	2	9	0	1	12
移動機器（車椅子）	141	45	6	1	193
移動機器（電動車椅子）	236	35	34	3	308
移動機器（杖・歩行器）	13	4	5	4	26
家事用具・操作用具（自助具・他）	48	11	26	1	86
家具・建具、建築設備（スロープ・昇降装置・住宅部品・他）	4	14	1	3	22
家具・建具、建築設備（ベッド・机）	3	0	1	0	4
家具・建具、建築設備（椅子・座位保持装置）	39	21	5	3	68
コミュニケーション関連用具（入力装置）	28	9	10	0	47
コミュニケーション関連用具（固定調整具・他）	6	3	0	0	9
コミュニケーション関連用具（呼びベル・緊急通報・環境制御装置）	11	4	0	0	15
コミュニケーション関連用具（視・聴覚障害者用機器）	0	3	0	0	3
コミュニケーション関連用具（対話用機器）	72	9	0	0	81

分 類	TA 相談	情報 提供	設計開 発相談	試作製 品評価	合 計
環境改善機器・作業用具	0	1	0	0	1
レクリエーション用具	1	19	0	0	20
都市計画	0	0	2	0	2
公共建築・施設	0	18	28	0	46
住環境	63	12	2	1	78
福祉用具全般	0	60	8	0	68
技術要素	0	17	2	0	19
その他	11	8	3	0	22
合 計	798	339	168	23	1,328

2 研究開発事業

リハビリテーション工学支援技術の提供で蓄積されたデータをもとに、高齢者・障害者の生活ニーズ、身体特性、支援技術などを体系的に整理し、福祉用具、住環境、ユニバーサルデザイン製品に関する自主的研究、企業や行政との共同研究開発などを行っている。

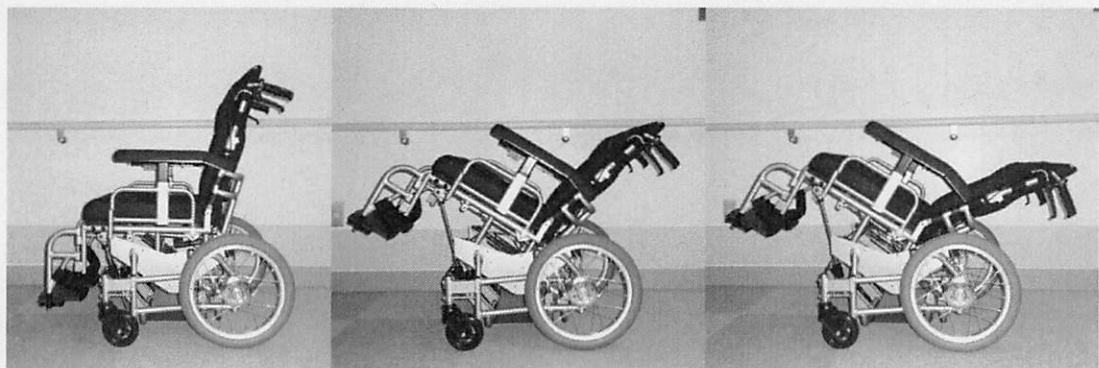
(1) 自主的研究開発

ア 生活・環境適応型車椅子の研究開発

・旋回性の高い姿勢変換（座位変換型）車椅子フレーム

姿勢変換機構を持つ車椅子は、姿勢変換（ティルトやリクライニング）時の安定性の確保のためホイールベースが大きく、旋回性や移動性が劣り、在宅環境での活用が難しい。そこで、安定性を維持しながら旋回性及び移動性を高めるため、姿勢変換にもなって座席部が前方にスライドする機構を設計検討し、試作を行った。この機構を検証し、平成23年度から進めている前輪駆動構造の車椅子軽量・コンパクトな電動リクライニング・ティルト式電動車椅子の製品化に应用する予定である。

【委託加工：旋回性の高い座位変換型車椅子フレームの試作】



・電動昇降式フット・レッグサポート

既製の車椅子に装着することにより足の位置（上下）を設定することを可能とする電動昇降式フット・レッグサポートを平成26年度に試作した。これをユーザーの簡易型電動車椅子に装着することで、モニター評価を行った。



(2) 他機関との共同研究開発

- ア 行政との連携による研究開発（公共施設のユニバーサルデザイン研究）
 ・ 県立中央病院、県有施設等のユニバーサルデザイン支援：県土木部

イ 企業との共同研究開発〔研究開発型企業重点指導〕

- ・ シャワーブース対応折戸の開発支援：(株)コマニー

現在、東京五輪・パラリンピックに向けて、東京都はもとより全国自治体でも事前合宿誘致のための競技場建設が計画されつつあるが、シャワーブースに関する研究情報は国交省の設計指針や既往研究にもないため、「いしかわ総合スポーツセンター（以下、スポセン）」の建設における実証研究や設置事例をもとに、障害者アスリートにも利用しやすいシャワーブースについての研究支援を行った。

具体的には、スポセン建設時に実施した①各種障害者スポーツ団体への調査結果や国内先進的施設の視察結果による障害者アスリート及び施設管理者のニーズ情報、②ユニバーサルデザイン検討会で検討した各種アスリートの身体特性に応じた設計条件、③シャワーブースを構成するパネル及び機器設備等の防水・防汚性、耐久性、衛生管理面の観点から指導した。

その結果、当社の主力製品である折戸「Dear-d」を防水仕様に改善開発に繋がり、オリンピック競技場建設事務局をはじめ国立研究開発法人建築研究所、大手建設業者等へのPR活動が積極化し、一部の採用が決まった。

3 技術普及・啓発

(1) 他部局との連携

- ・ 身体障害者更生相談所との技術連携・支援（健康福祉部）
- ・ バリアフリー社会推進賞の募集・審査（健康福祉部）
- ・ 県ささえ合い駐車場の支援（健康福祉部）
- ・ 内閣府バリアフリー功労賞の支援等（健康福祉部）
- ・ 学校における福祉用具及びバリアフリー環境等に関する情報提供（教育委員会）
- ・ 医商工連携促進事業における福祉用具のニーズに関する情報提供（商工労働部）

(2) 他機関委員会等への参画

- ・ バリアフリー北陸信越ブロック地域連絡会（北陸信越運輸局）
- ・ 障害者雇用管理サポート事業（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）
- ・ 福祉機器採択審査・技術委員会
（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）

(3) 展示会への出展

- 最新の福祉用具及びバリアフリー推進工場の活動を紹介（健康福祉部）

- ・障害者ふれあいフェスティバル
- ・介護フェスタいしかわ

4. 福祉用具の貸出 855件

関係機関からの依頼により、試用・評価用の福祉用具を貸出している。

分類	用具	件数	小計
装具	BFO・スプリング balanサー・スプリント	59	59
パーソナルケア	トイレ・入浴・更衣・整容	51	51
移動・移乗用具	杖・歩行器	31	354
	車いす	99	
	電動車いす	28	
	クッション	72	
	車いす部品	95	
	リフト・吊り具	4	
	移乗用具・他	25	
食事・炊事・操作用具	食事・炊事用具	163	163
家具・建具・建築設備	座位保持装置・いす	26	35
	家具類（机等）	7	
	スロープ・手すり・他	2	
コミュニケーション	スイッチ・入力装置	73	160
	意思伝達装置・会話補助装置	31	
	呼び出しベル・環境制御装置	13	
	固定・調整用具	43	
その他	スポーツ・レクリエーション用具・他	33	33
合計			855

Ⅲ 難病相談・支援センターの状況

1 難病相談

人数	電話	面接	うち		メール FAX はがき	その他 (ケース会議 等)	家庭 訪問	合計 (人)
			うち 専門医	うち リハビ リ専門 職				
人数	513	149	15	45	65	147	49	923

2 患者交流会

回数	参加人数 (うち難病患者)
33回	173 (134) 人

3 研修会

(1) 難病研修会 (対象：難病患者、家族)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 8. 8(土) 13:30～15:30	セルフマネジメント研修 「笑いヨガでこころもからだもスッキリ！」 講師：ヨガインストラクター 松本 節子 " 石黒 優子	リハビリテー ションセンタ ー	20
H27. 8. 27(木) 14:00～16:00	医療講演会・相談会 「皮膚筋炎・多発性筋炎について」 講師：金沢大学附属病院リウマチ・膠原病内科 診療科長 川野 充弘	"	20
H27. 9. 12(土) 10. 10(土) 11. 14(土) 10:00～12:00 *SCD友の会と共催	セルフマネジメント研修 「オカリナ教室」 講師：齊藤 昌子	"	23
H27. 9. 15(火) 13:30～16:00 *高次脳センターと 共催	ピアサポート研修会 難病・高次脳機能障害のある方のピアサポート研修 会「ピアサポート～傾聴・ピアによるサポートとは ～」 講師：富山大学人文学 准教授 伊藤 智樹	"	11
H27. 10. 6(火) 13:30～15:30 *高次脳センターと 共催	就労相談会 「難病・高次脳機能障害のある方の就労について」 講師：金沢公共職業安定所 難病就労サポーター 国田 直樹	"	6
H27. 10. 29(水) 14:00～16:00	医療講演会・相談会 「重症筋無力症について」 講師：国立病院機構医王病院神経内科 医師 本崎 裕子	"	6

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 10. 31(土) 14:00~16:00	セルフマネジメント研修 「音楽で楽しい毎日、楽しくリハビリ」 講師：音楽療法士 太郎田 真理	リハビリテーションセンター	41
H27. 11. 19(木) 10:30~14:00	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 「医療依存度の高い在宅療養児と家族支援のための学習会」 講師：特定医療法人社団勝木会 看護師 高野 明美 ファシリテーター スマイルの会代表 金田 聡恵	南加賀保健福祉センター	24
H27. 11. 20(金) 14:00~16:00	医療講演会・相談会) 「サルコイドーシスについて」 講師：金沢大学附属病院 呼吸器内科 医師 渡辺 知志 眼科 医師 竹本 裕子	リハビリテーションセンター	30
H27. 12. 7(月) 13:30~15:30	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 親支援のための交流会「先輩ママの体験談」 講師：全国心臓病の子どもを守る会石川県支部 竹垣 和恵	能登空港ターミナルビル	5
H28. 3. 15(火) 13:30~16:00 *高次脳センターと共催	ピアサポート研修会 難病・高次脳機能障害のある方のピアサポート研修会「ピアサポート～傾聴・ピアによるサポートとは～」 講師：富山大学人文学 准教授 伊藤 智樹	〃	8
H28. 3. 20(日) 14:00~16:00	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 小児がん講演会 「小児がんってなんだろう」 講師：金沢医科大学小児科 主任教授 犀川 太 「小児がん経験者と家族の会『くるみカフェ』の活動紹介」 松浦 晋吾 「石川県のがん相談支援について」 石川県がん安心生活サポートハウス 看護師 木村美代	リハビリテーションセンター	29
合計			223

(2) 難病研修会 (対象：難病患者の支援関係者)

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 4. 16(木) 4. 23(木) 4. 30(木) 5. 7(木) 5. 14(木) 15:10~16:50	公衆衛生学(地域保健)講義 「難病患者および家族の支援」について 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター)職員	石川県立総合 看護専門学校	148
H27. 5. 13(木) 13:00~14:00	地域保健指導論 講義 「難病保健活動の実際」について 講師：リハビリテーションセンター (難病相談・支援センター)職員	金沢大学鶴間 キャンパス	90
H27. 6. 29(月) 14:30~16:00	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：石川県OPLL友の会 会長 太田 和子 事務局長 上口 勲	国際医療福祉 専門学校七尾 校	60
H27. 7. 15(水) 13:00~16:00	難病患者生活支援啓発普及事業) 「難病患者体験談」 講師：石川県パーキンソン病友の会 伊東 正夫	石川県立看護 大学	80
H27. 7. 16(木) 7. 23(木) 9:30~16:30	難病支援のための介護支援専門員研修 「神経難病の理解」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 医師 池田 芳久、高橋 和也 「特定疾患の支援に関して」 講師：リハビリテーションセンター医師 岸谷 都 「難病相談・支援センターについて」 「生活を支える福祉用具を用いた技術支援」 講師：リハビリテーションセンター職員 「グループワーク」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院等 ソーシャルワーカー 中本 富美 (7/16, 23) 吉田 力 (7/16, 23)	石川県社会福 祉会館	186
H27. 8. 26(水) 10:10~10:50	平成27年度石川県障害者相談支援従事者研修(現任研 修) 講師：リハビリテーションセンター職員	石川県地場産 業振興センタ ー	52
H27. 10. 21(水) 10:00~11:30	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：いしかわIBD結の会 中村 俊一	石川県立田鶴 浜高等学校	77
H27. 11. 27(金) 13:30~14:30	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：日本リウマチ友の会石川支部 支部長 高谷正子 会員 新保里美 会員 出水陽子	金沢医療技術 専門学校	95

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 12. 11(金) 13:00~14:00	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：網膜色素変性症の患者と家族の会石川県支部 津田孝司	金沢大学鶴間 キャンパス	90
H28. 1. 8(金) 13:00~17:15	難病ホームヘルパー養成研修 「石川県の難病対策」 講師：県健康推進課職員 「難病相談・支援センターについて」 講師：難病相談・支援センター職員 「神経難病の理解」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 医師 島 綾乃 「難病患者さんの口腔ケアと看護」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 看護師 浅井 瑤子 「難病患者さんと家族への精神的支援」 講師：独立行政法人国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー 吉田 力	リハビリテー ションセンタ ー	37
H28. 1. 19(火) 13:10~14:50	難病患者生活支援啓発普及事業 「難病患者体験談」 講師：もやもや病の患者と家族の会北陸ブロック 北村 秀夫、北村 仁美	七尾看護専門 学校	40
合計			955

(3) ボランティア育成研修会

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 4. 26(日) 9:00~16:30	「脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の方への対応について」 講師：難病相談・支援センター職員	北潟湖レイクサ イド湖畔荘	9
H27. 10. 31(土) 14:00~16:00	(セルフマネジメント研修) 「難病のある方への対応について」 講師：難病相談・支援センター職員	リハビリテーシ ョンセンター	12
合計			21

4 連携会議

実施年月日	連絡会テーマ	会場	参加者数
H27. 5. 26(火) 13:30~15:30	難病患者団体等連絡会	リハビリテーシ ョンセンター	14
H28. 3. 24(木) 13:30~15:30	〃	〃	11
合計			25

5 患者会支援

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H27.4.18(土) 10:00~12:30	いしかわ SCD 友の会 2015 年度総会 (SCD: 脊髄小脳変性症)	リハビリテーションセンター	20
H27.4.26(日) 9:00~16:30	いしかわ SCD 友の会交流会	北潟湖レイクサイド湖畔荘	29
H27.5.24(日) 13:00~16:00	石川県 OPLL 友の会 第 14 回定期総会・医療講演会・交流会 (OPLL: 後縦靭帯骨化症)	近江町交流プラザ	60
H27.6.21(日) 13:00~15:30	公益社団法人日本リウマチ友の会 第 44 回石川支部大会	松ヶ枝福祉館	30
H27.6.25(木) 13:30~15:30	南加賀地区で在宅療養をしている障害児と親の会 「スマイルの会」H27.6 集会	小松サン・アビリティーズ	36
H27.7.8(水) 11:00~12:00	公益社団法人日本リウマチ友の会 石川支部交流会	ホテル金沢	18
H27.9.23(水) 12:30~17:00	パーキンソン病友の会運動会	金沢市障害者高齢者体育館	50
H27.9.26(土) 13:50~16:30	MS キャビン MS/NMO 医療講演会 (MS: 多発性硬化症、NMO: 視神経脊髄炎)	TKP 金沢ビジネスセンター	26
H27.9.27(日) 13:30~16:30	「いしかわ IBD 結の会」平成 27 年度公開交流会 (IBD: 炎症性腸疾患)	リハビリテーションセンター	20
H27.9.29(火) 14:00~16:00	後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師: リハビリテーションセンター職員	南加賀保健福祉センター	8
H27.10.2(金) 14:00~16:00	パーキンソン病患者・家族のつどい 講師: リハビリテーションセンター職員	能登中部保健福祉センター	19
H27.10.2(金) 13:30~15:00	神経難病相談会 講師: リハビリテーションセンター職員	能登空港ターミナルビル	8
H27.10.16(金) 14:00~16:00	後縦靭帯骨化症患者・家族のつどい 講師: リハビリテーションセンター職員	能登中部保健福祉センター羽咋地域センター	16
H27.10.18(日) 13:00~17:00	ベーチェット病友の会石川県支部創立 45 周年記念大会	県社会福祉会館	100
H27.12.6(日) 12:30~16:30	第 10 回北陸リウマチ膠原病支援ネットワーク総会	ホテル日航金沢	140
合 計			580

IV 高次脳機能障害相談・支援センターの状況

1 高次脳機能障害相談

交通事故や脳血管障害等で脳に損傷を負ったため注意障害、記憶障害等の症状により社会適応が困難な方に対して生活上の悩み等に関する相談に応じ、高次脳機能障害者、家族の不安の軽減を図る。

	電 話	面 接	F A X等	家庭訪問	合 計
人 数	633	182	55	39	909

2 生活支援教室

当事者同士の交流や活動を通じて障害の自己認識を深め、また、障害を補うための代替手段を獲得することで、高次脳機能障害者の地域での安定した生活への移行を図る

実施年月日	会 場	内 容	回数	参加人数 (のべ人数)
毎週水曜日	リハビリテーションセンター、ほっとあんしんの家	スピーチ、レクリエーション等	47	9 (249)

3 就労者のつどい

当事者同士が就労の中で生じる悩みを語り合い、精神的な安定を図る

実施年月日	内 容	会 場	参加者数
H27.12.12(土) 13:30~16:00	レクリエーション、座談会（仕事について）	ほっとあんしんの家	6

4 家族教室

高次脳機能障害は、頭部外傷、脳血管障害等による脳損傷の後遺症として、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害が生じ、日常生活・社会生活への適応が困難となる障害である。特に生活場面での障害は、家族への影響も大きく、家族が正しく理解して対応することの難しい場合が多い。

高次脳機能障害者家族教室は、家族が高次脳機能障害を正しく理解することや、家族同士が交流することを目的として実施する。

実施年月日	内 容 及 び 講 師	会 場	参加者数
H27.7.3(金) 13:30~15:30	家族教室 講義「高次脳機能障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター職員 「使える社会資源について」 講師：上荒屋クリニック介護相談センター 所長 馬渡 徳子氏 「家族会紹介」 講師：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 上口 由美子氏 交流会	リハビリテーションセンター	27

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 9. 15(火) 13:30～16:00 *難病センター事業 と共催	ピアサポート研修会 講義「ピアサポートについて ～混沌とした語りを聴く～」 講師：富山大学人文学部 准教授 伊藤 智樹 氏	リハビリテーシ ョンセンター	3
H27. 10. 3(土) 13:00～17:00	NASVA介護料受給者交流会	〃	8
H27. 10. 6(火) 13:30～15:30 *難病センター事業 と共催	就労相談会 講義「難病・高次脳機能障害のある方の就労につ いて」 講師：金沢公共職業安定所 国田 直樹 氏	〃	7
H28. 2. 8(月) 13:30～15:30	家族教室 講義「高次脳機能障害の理解と対応について」 講師：リハビリテーションセンター職員 「使える社会資源について」 講師：恵寿金沢病院 ソーシャルワーカー 荒木 千保子 氏 「家族会紹介」 講師：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 上口 由美子 氏 交流会	〃	27
H28. 3. 15(火) 13:30～16:00 *難病センター事業 と共催	ピアサポート研修会 講義「ピアサポートの社会学—「一人称」で語るとい うこと—」 講師：富山大学人文学部 准教授 伊藤 智樹 氏	〃	1
合 計			73

5 高次脳機能障害研修会

高次脳機能障害について理解を深め知識の普及を図る。

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27. 8. 26(水) 10:00～11:00	石川県障害者相談支援従事者研修 講義「地域での取り組みについて」 講師：リハビリテーションセンター職員	石川県地場産業 振興センター	52
H27. 9. 26(土) 14:00～16:00	専門職研修 講義「地域生活を支える 高次脳機能障害へのアプ ローチ～注意障害を中心に～」 講師：横浜市総合リハビリテーションセンター 地域支援課 作業療法士 山崎 文子氏	リハビリテーシ ョンセンター	64

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H27.11.14(土) 14:00～16:30	<p>普及啓発研修 講義「石川県の現状報告～子どもの高次脳機能障害への取り組み～」 講師：リハビリテーションセンター職員</p> <p>講義「子どもの高次脳機能障害への取り組みについて」 講師：NPO法人脳外傷友の会高志 副理事 大野 美絵 氏 高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ代表 中村 千穂 氏</p> <p>講義「子どもの高次脳機能障害の理解と対応～医療と学校と家庭の協働したリハビリテーション～」 講師：広島県教育委員会 臨床発達心理士 馬屋原 誠司 氏</p>	リハビリテーションセンター	91
合計			207

6 高次脳機能障害支援関係者連絡会

高次脳機能障害者の社会参加の促進に向けた各機関の役割を理解し、支援上の課題や連携について検討することで関係機関のネットワークを強化する。

実施年月日	内容及び講師	会場	参加者数
H28.3.18(金) 13:30～16:00	<p>支援関係者連絡会 講義「高次脳機能障害における医療・教育・福祉の協働について～多職種連携での視点から～」 講師：富山県高次脳機能障害支援センター センター長 野村 忠雄 氏</p> <p>グループワーク 「就労支援における医療・教育・福祉の連携について～事例検討から各機関の役割を考える～」 助言者：富山県高次脳機能障害支援センター センター長 野村 忠雄 氏</p>	リハビリテーションセンター	81
合計			81